

# 脱原発・放射能汚染を考える

## 5/19 老朽原発うごかすな！ 関電包囲全国集会 関西電力の原発稼働に抗議して本店前で集会とデモ

オール福井反原発連絡会とふるさとを守る高浜・おおいの会、若狭の原発を考える会の呼びかけで、関電包囲全国集会が開かれた。集会には約750人が参加し、関電に「老朽原発うごかすな！」のシュプレヒコールを突きつけた。集会では青森大間で闘う仲間から、鹿児島川内原発と闘う仲間まで全国の闘いの報告が行なわれた。福島からは「正常化」についての怒りの報告が行なわれた。福井からは、傲慢で無責任な県政との闘いの報告があった。

### 関西各地の闘いと労働組合の闘い

関電と対峙する滋賀・大阪・兵庫・奈良から運動の報告が行なわれた。若い活動家からの報告は運動の広まりを示しており、元気をつけられた。



5/19 全国からの報告



5/19 御堂筋デモ

労働運動からの報告では、福島求人条件に、労働運動や労災請求を排除する動きがあることが糾弾された。また東電は、3年・5年の期限付き「外国人労働者」を福島事故現場で使い捨てしようとしていることが報告された。集会終了後、御堂筋を通り、難波までのデモが行なわれた。

### 5月3日には全国で護憲集会 大阪では2万人が参加

憲法記念日の5月3日に、全国で護憲集会が開かれた。大阪では扇町公園に約2万人が参加して「輝け憲法！ 平和といのちと人権を！」が開かれた。集会では、維新には屈服しないぞ！護憲を掲げて闘う意欲が表明された。集会後に3方向にデモが行われた。

東京では有明公園に約6.5万人が参加した。そして各地でも集会や講演会が開かれた。



5/3 大阪集会



5/3 東京集会

### 「愛国」「自己犠牲」「ルールへの従属、これでいい！？」 6・1 より良い教科書を子どもたちに！全国集会

今年小学校の教科書(道徳教科書も含む)の検定結果が公表され、採択が行われる。少しでもましな教科書を採択させるためには、市民の力が必要である。

集会では、検定結果と小学校教科書の問題点、公正な採択を求める教育首長会議との闘い、各地の報告。

日時:6月1日(土)13:30~ 場所:エルおおさか 6階

## 実は「テロ対策」だけでない「重大事故対策施設」の建設遅れは危険すぎる！ 関西電力・四国電力・九州電力は原発を直ちに停止せよ！

規制委が「テロ対策施設が未 completion なら稼働中の原発でも停めろ」と発表した。これには誤魔化しがある。電力会社が「間に合わない」と言っているのは「テロ対策」だけでなく、重大事故の際に放射能の飛散量を抑制するための装置=フィルターベントの設置などの施設である。

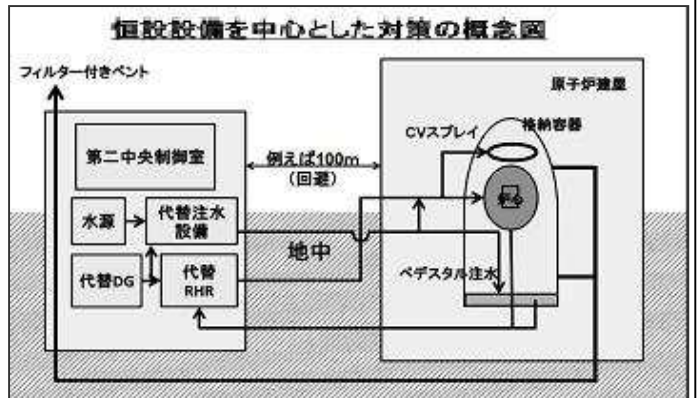
規制委が新規規制基準(2013年)から5年、その後工事計画の審査を終えてから5年と猶予を伸ばしてきたのは「特定重大事故等対処施設」と言われるものである。

### 特定重大事故等対処施設とは何か？

「特定重大事故等対処施設」とは、原子炉から100m以上離れた場所に緊急制御室を設置し、「重大事故対策」として、第二中央制御室や注水機能、そしてフィルターベントを設置にすること等。ところがこれを「テロ対策施設」かのように言うことで、何か非常時のように扱われてしまっている。問題は原発が、規制委の5年+5年の猶予によって「重大事故対策」がないまま再稼働を始めていることである。そして今回の問題は、電力会社が資金難からこれをも嫌がり、先延ばしにしようとしたが、規制委はそれは認めずに、「審査後5年の猶予」を再確認したのが今回の真相である。現在稼働中の原発は、新規規制基準を満たしていないということである。即時停止こそ必要である。

「特定重大事故対処設備」については、2012年の「新安全基準検討チーム」の議事録に、過酷事故対策の基本方針として以下の内容が必須事項とされている。

- ① 代替最終ヒートシンク及び代替電源とその制御等。
  - ② 格納容器の代替注水、原子炉圧力容器直下部への注水、フィルター付きベント、第二中央制御室等
- そして下図の「恒設設備を中心とした対策の概念図」が掲載されている。これを見ると、特定重大事故対処設備の中心的で重要な設備とは、「フィルター付きベント、と第二中央制御室」という事が良く分かる。





### 天理・柳本飛行場跡に掲示板設置(4/13 朝日・奈良)

天理市柳本には終戦時に「本土決戦」に向けて海軍の飛行場が建設された。多くの朝鮮人労働者と予科練生が飛行場の建設に動員された。その事実を記した「説明板」が2014年に天理市によって撤去された。撤去に反対し、歴史の真実を継承しようとして、天理地区の市民と韓国の市民が参加して、市民の「説明板」が設置された。

韓国瑞山(ソサン)市でも説明版が近日中に設置される。

### 滋賀県野洲が「放射線副読本」を回収(4/25 京都)

野洲市教育委員会は、昨年配布した「副読本」が、福島事故の被災者の心情に配慮せず、安全性を強調していることを問題視して回収を進めている。福島からの避難者の憤りと、専門家の「放射線被曝のリスクを過小評価させる印象操作だ」との批判が強まっている。

### 改憲反対市民意見広告に11217人(5/3 朝日)

毎年恒例の市民意見広告が3日の新聞各紙に掲載された。今年は「安倍改憲に勝つ」と題され、11,217人の市民が参加した。「武力で平和はつくりえない」「民主主義はどこへ行った」「アベノミクスは大失敗」「安倍改憲に勝つ」

### 朝日新聞世論調査では護憲の国民世論(5/3 朝日)

朝日新聞は憲法記念日を前に憲法に関する世論調査を行った。①改憲機運は高まっているか? = 高まっていないが72% ②九条は変える方がよいか? = 変えないが64%/変える28% ③九条への自衛隊明記 = 反対48%/賛成42% ④緊急事態条項 = 憲法を改定する28%/憲法を変えずに対応55%

### 福島汚染処理の長期保管も選択肢に(5/13 毎日)

福島原発事故で溜まり続ける汚染水について、外部への放出に反対する市民の声を反映して、経産省の有識者会議の選択肢に、「長期保管」を付け加えた。ただタンクの増設は予定せず、満杯になればまた放出が? ?

## 「戦争法」違憲訴訟(5月22日) 堂々15人の原告証言で法廷を圧倒

2016年の提訴以来3年となり、裁判はいよいよ終幕を迎えようとしている。裁判所は原告側証人の採用を認め、22日に午前・午後を使って15人の原告証言が実現した。

大法廷は傍聴席・原告席も満席となり、熱気のなかで西谷さんの証言が開始された。西谷さんは谷弁護士に答えて、イラク、アフニスタン、南スーダンでの現地取材の経験を語った。中東地域に対してはG8諸国のなかでは日本だけが直接的な侵略の歴史を持っていないことが、日本に対する親近感となり、それが日本の「平和ブランド」となっていた。今回の戦争法とPKO派兵によって、今後は日本が標的にされる危険性が拡大したことが証言された。

昼からは14人の原告代表が証言を行なった。「広島被曝から憲法9条の平和主義」「京都のXバンド米軍基地での横暴な米軍」「自衛隊伊丹駐屯所への申入れ」「戦争は障害者を切り捨てる」「戦争法の強行採決を認めることは出来ない」「加害者になることの無いように」「戦争は在日中国人への差別を」「戦争法は徴兵制への道」などの証言があった。

## 堺 平和のための戦争展(7/27-28) サンスクエア堺

堺では2004年から毎年「平和のための戦争展」が開かれています。

今年は人形アニメ「おかあちゃんごめんね」の上映と原作者の早乙女勝元さんと浜野絹子さんのお話があります。わだつみ会や大牟田の爆発赤痢・南京スタディーツアー報告、福島原発事故写真展なども参加します。子供向けの行事もあり、家族で参加して学び遊べます。



- ① 大阪城狛犬物語
- ② 1%の底力で朝鮮学校の民族教育を支える会
- ③ 子どもたちに伝えたい沖縄の今
- ④ ミサイル基地いらぬ宮古島住民連絡会
- ⑤ 絵で見る中国人強制連行「ゆみこちゃんと王おじさん」
- ⑥ 関西わだつみ会
- ⑦ アジアから問われる毒ガス問題
- ⑧ 日本の植民地政策
- ⑨ 日清・日露戦争と韓国『併合』(百周年;三・一独立運動にあたって)
- ⑩ 未来のための歴史パネル展
- ⑪ 現地から伝えるフクシマ写真展
- ⑫ 写真展「日本軍が要塞化した島」
- ⑬ 戦時の卒業アルバムから
- ⑭ 天理・柳本飛行場の説明板日韓同時設置プロジェクトの報告
- ⑮ 韓国の原爆被爆者を救援する市民の会
- ⑯ 映画「終わらない戦争」の上映
- ⑰ 「南京大虐殺」で本当にあったの?
- ⑱ 「ピースおおさか」改悪リニューアルで撤去された情報
- ⑲ 「慰安婦問題」でなかに
- ⑳ 戦中資料・書籍の展示

## 報告 「アジアから問われる日本の戦争」展

### 4月29-30日阿倍野市民センターに20団体の参加

2013年に「ピースおおさか」はこれまで展示していたほとんどの加害・被害展示を撤去した。私たちは大阪府、大阪市、「ピースおおさか」に対して、裁判、申し入れや抗議行動、集会、学習会を展開して闘ってきた。

現在、「ピースおおさか」を訪れる子どもたちは、侵略戦争における残虐な加害も、戦争に動員された日本民衆の不条理な被害も知らされないまま、誤った「歴史認識」を植え付けられようとしている。これを座視することはできない。

私たちは、大阪にける「戦後遺留問題」をはじめ様々な「反戦・平和問題」に取り組む市民運動の力を結集して、「アジアから問われる日本の戦争」展を開催した。

実行委員会には20団体・個人が参加し、阿倍野市民学習センターの7室と講堂・アトリエを展示と企画で埋め尽くした。会場には想定された人数の倍を超える約700人が参加した。この成功は、各運動体の共闘体制をたかめ、来年以降の戦争展継続への大きな蓄積となるだろう。

